



文政小 第7号

学校便り
文責

生田 文明

修学旅行 長崎・佐賀へ

五月三十、三十一日の一泊二日で、長崎、佐賀へ修学旅行に行ってきました。

一日目は、好天で、二日目は、お昼過ぎまで雨でしたが、予定通りに、各見学地を巡ることができました。「百聞は一見に如かず」長崎・佐賀の様子・歴史・産業・文化、そして命・平和の尊さを自分の五感を通して、体験することで、学びを深めることができました。

6年生一人一人が、自分の役割をしっかりと果たし、平和祈念公園での平和の誓い、見学地でのマナー、



平和祈念公園（平和の誓い）



吉野ヶ里遺跡公園



原爆資料館



被爆体験講話

入館、退館時の挨拶などを立派に行うことができました。また、集団の一員として、はじめある行動や協力し合って、生活することもできました。

今回の修学旅行は、学びのスタートです。十年後、二十年後・・・今回訪れた場所を機会あるごとに是非訪問してもらいたいと思います。

修学旅行の思い出とともに、新たな発見や学びがそれぞれの訪問地で必ずあるはずですよ。

戦時中の文政校区の様子

三日、総合的な学習の時間で、四年生は、平和学習の一環として、文政校区の戦時中の様子について、地域の方々からお話を伺いました。

太平洋戦争が始まった当時小学四年生だった昭和十八年度文政小学校卒業生、七名の方に来校いただき、子ども達からの質問に答えていただきました。「北出と外出の境界を走る『軍用道路』のいわれ」（北新地飛行場造成のための道路として造られた）



佐賀県立宇宙科学館



出島資料館

「引き渡し訓練」へのご協力 ありがとうございました。

「小学校での軍事教練の様子」（竹槍を使った訓練を行っていた）、「防空壕はどこにあった？」（各家々にあった）、「原爆の雲（キノコ雲）は見たか」（もくもくと立ち上る真っ黒な煙が見えた）等、当時の様子を詳しく教えていただきました。また、白米は貴重で、芋がゆを食べていたこと、いつも裸足であったことなども話していただきました。直接お話を伺うことで、戦時中の苦悩と平和の大切さを感じる事ができました。

お話をしていた皆さん、ありがとうございました。二度と戦争を起こさないように、子ども達へ語り継いでいきます。

七日に、大雨、不審者出沒を想定した保護者への児童引き渡し訓練を実施しました。当日は、風雨が強く、まさに、本番さながらの訓練でした。

今回の訓練のために、保護者の皆様には、ご多様な中、貴重な時間を割いていただき、訓練に協力していただき、ありがとうございました。

※病氣・荒天で、自家用車にお子さんを乗せ、登校される場合は、安全確保のために、体育館駐車場での下車をお願いします。

